

同志社大学経済学部 2015 年度秋学期特別講義「企業分析」

2016 年 1 月 15 日 「東レグループの事業展開」

講師名 深澤 徹

学生のベスト・コメント

[回答7]日本企業の利益率が低い原因は何ですか。また、利益率が高い企業と比べて、日本の企業に足りないものは何ですか。

[回答31]2011 年と 12 年の ROE は、円高の影響で ROE の分母が小さくなるために値が高く出ているということでしたが、最近の円安傾向も ROE に影響を与えているのかなと思いました。

講師からのコメント

[回答7]非常に難しい質問です。「日本企業 低収益性」でググると、玉石混淆の沢山の論考が出てきますので、興味がある方はそちらを見てください。日本企業は収益性の低い事業をなかなか止めないというのも理由のひとつだと思いますが、その止めない理由というのも、またいくつか考えられます。ただ、止めなかったがゆえに長い目で見ればプラスであったという事象もあるのではないかと、どういう時間軸で経営を考えるかというのも重要だと思います。最低限ステーク・ホルダーが期待する短期的な収益をあげての上の議論ですが。

[回答31]グローバルに事業展開を行っている会社の日本円で表示された連結財務諸表は為替換算の影響を受けます。例えば、海外子会社の業績を前年比で見た場合、現地通貨建てでは増益となったが円高が進んだため円建てで評価すると減益となったということが起きます。連結決算の ROE は R も E も為替換算の影響を受けます。連結決算の E=自己資本には「為替換算調整勘定」という勘定があり、詳しい説明は省きますが、通常円高になると目減りし、円安になると膨らみます(会計上の処理であって、実際に資金が動くわけではありません) このため、円高時には E が小さくなって ROE が改善しました。伊藤レポート以降 ROE の議論が盛んですが、単に数字を見るのではなくその内容について十分理解し、実態を見る必要があります。

以上